

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧ⅠB類(EN)

中～小型のドジョウの仲間で、比較的人里近くにもひっそりと生息する。 全長:約7cm あわら市産

ドジョウ科 ホトケドジョウ属 【全長】約8cm

## ホトケドジョウ

学名: *Lefua echigonia*

### 分布域

青森県と中国地方西部を除く  
本州に分布する。

### 生息域

湧水を水源とする湿地や水路の  
泥底部に生息する。



生息地、生息数とも減少傾向にある。

日本の固有種。体形は円筒状でややずんぐりする。頭部はやや縦扁し、尾部は側扁する。体色は淡褐色や茶褐色・暗褐色など地域差が視られる。小さな暗色斑点が体全体に散在する。口髭は4対・8本で、その中の1対は鼻孔より伸びる。メスはオスより大きくなる。湧水を水源とする湿地や水路などの泥底部に生息する。水草の間など中層を泳ぎ回る。食性は底生動物を主とする雑食性。産卵期は3～6月で水草などに粘着卵を産み付ける。孵化後に浮遊・遊泳生活をおくる。

水槽での飼育は比較的容易。丈夫で人や水槽の環境に慣れる。餌は冷凍赤虫を食べる。夏場の水温上昇には注意したい。

在来種

純淡水魚

※ 福井県内には比較的広範囲に生息するが、生息地・生息数とも減少傾向にあり、保護対策を講じる必要が急務と思われる。また、体色などに若干の地域変異があり興味深い。